

javaのフレームワーク

Spring framework (特徴) 依存性が排除されることで不具合が解決しやすくなる。
コードの簡素化、テストの簡素化が見込める。
さまざまな webシステム・webサービスで使われており
大規模な開発も得意。

(使い方) Spring Tool Suiteからダウンロード→プロジェクトを作成し、
ビルドさせる →ビルドでできたファイルを実行 →
データベースの作成、データソースの作成、実行。

Play framework (特徴) java、Scala(プログラミング言語)をサポートする。
開発がしやすい。ほかのフレームワークと比べて、速くて軽い。
独自の Webサーバを持っている。

(使い方) Lightbend社が提供しているプラットフォームを使う。

Spark framework (特徴) Javaで実装されたマイクロフレームワーク。
プログラミングやシステム開発を迅速に行うことができる。
最小限の機能しか実装されていないため、
大きいプロジェクトよりも中小向きである。
(使い方) NetBeans→Maven→Sparkをプロジェクトに追加 →ビルド→起動